

平成 15 年 10 月 24 日

プレスリリース

(解禁日時：平成 15 年 10 月 30 日 記者会見後 16:00)

日本公認会計士協会近畿会
日本弁理士会近畿支部
大 阪 弁 護 士 会

バイオサポーターズ 3 会協議会の設置

1. 経過

日本公認会計士協会近畿会、日本弁理士会近畿支部の 2 会は、去る平成 15 年 8 月 29 日に「バイオ情報サイト・サポーターズ構想」を公表したが、その後、同趣旨に賛同した大阪弁護士会が参画することとなり、3 会が連携した形で関西経済活性化に向けた同構想を推し進めることとなった。

これを受け、近畿経済産業局（バイオインダストリー振興室）の仲介により、3 会と、オブザーバーとして奈良先端科学技術大学院大学、及び NPO 法人近畿バイオインダストリー振興会議を加え協議（平成 15 年 10 月 14 日）した結果、関西の専門家 3 団体が「バイオサポーターズ 3 会協議会」（仮称）を設置し、バイオ事業振興基盤の仕組み作りを行う方向で合意、その後の調整を行った結果、下記内容で具体的な活動を開始することとなった。

2. 今後の進め方

(1) 人材育成の仕組み作り

奈良先端科学技術大学院大学、（社）日本生物工学会と NPO 法人近畿バイオインダストリー振興会議の協力の下に、3 会の勉強会を実施する。

① 内容

- ・ 基礎知識コース（主に公認会計士・弁護士を対象、基礎知識・用語等の習得を目的）と専門知識コース（主に弁理士を対象、現在の最先端知識の習得を目的）の 2 コースを開設する。
- ・ 科目は、創薬・バイオケミカル・バイオマテリアル・環境等を中心とする。

② 進め方

- ・ 各 3 会でバイオ関連担当の常設委員会から受講者を人選し、各コースとも 10～30 名程度の規模で隔週土曜日（13:00～16:00）に勉強会を実施する。

- ・ 各コースカリキュラムは、講師として、京大、阪大、神戸大、大阪府大、奈良先端大等のバイオ分野における第一線の教授を迎えての実施を予定している。

12/6 ・ 合同オリエンテーション

<基礎知識コース>

- 12/20 ・ バイオの世紀、その時代背景と今後
 ・ こんなところにもいる微生物（：極限環境下微生物）
- 1/17 ・ 子が親に似るわけ、トンビが鷹を生む仕組み（：遺伝子の構造、突然変異とDNA修復）
 ・ 微生物を痛めつけて儲ける発酵工業
- 1/31 ・ ガンの治療法はどこまで進んだ（：発癌と転移の機構）
 ・ 年をとるとなぜ物忘れをするか（：アルツハイマー病はどこまで解ってきたか）
- 2/14 ・ 臓器移植の切り札、再生クローン
 ・ 副作用のない薬、ゲノム創薬
- 2/28 ・ 禁断の実を口にした20世紀（：持続可能な社会を作る植物バイオ）
 ・ 環境を守る生き物

<専門知識コース>

- 12/13 ・ ゲノム時代、ポストゲノム時代
 ・ バイオインフォーマティクス
- 1/10 ・ プロテオームからメタボローム解析
 ・ ゲノム創薬とテーラーメイド医療
- 1/24 ・ バイオ先端機器実習
- 2/7 ・ 遺伝子治療
 ・ 再生医療
- 2/21 ・ ナノバイオ
 ・ 植物バイオ最先端

- ・ その後、カリキュラムの見直しを行いながら、四半期サイクルで定期的に当該勉強会を実施し、3会の「人材」育成と各専門家サポーターズ相互の「人脈」形成のインフラ基盤を創造する。

(2) 事例の集積

上記の勉強会と並行し、近畿経済産業局の協力を得て、3会専門家が実際 TLO 事案を対象とした支援作業を行い、そのノウハウを3会で集積する。

(3) その他

- ・ 会場は、適宜各 3 会の会議室等を使用する。
- ・ 費用は、当面各 3 会で実費負担し、翌年度から各 3 会で予算化する。
- ・ 当面の事務局機能を日本公認会計士協会近畿会が担当し、以降は持ち回りとする。
- ・ 当初予定していた「バイオ情報ネット」については、引き続き検討を行う。

3. お問い合わせ先

日本公認会計士協会近畿会 佐伯 (TEL : 06-6271-0400)

以 上